



レーシングドライバー・平川 亮さんが **Keeper LABO** にやってきた！ ～ インタビュー中心の初の試み、90秒CM撮影レポート！ ～



収録後、プライベートの話も気さくにしてくれました。「ここは中東並みだ！」と日本の暑さに笑いながらコメントする場面も！最初はクールな印象だった平川さんも、時間が経つにつれて気さくな一面を見せてくれました。

8月20日、キーパーラボ石川橋店に、現在WECで活躍し、F1のリザーブドライバーも務める平川亮さんが来店。この日は、テレ東系列6局で放送中の番組「RACING LABO SUPER GT + KYOJO」内で流れる90秒CMの撮影のためでした。

撮影前、平川さんはなんとタクシーで登場！海外での活動が多く、日本には車がないそうです。そのため、今回の90秒CMはこれまでのものとは一味違い、インタビューがメインの構成。

初の試みでどうなるかと思いきや、2015年から2021年まで7年間もスーパーGTでKeeper号のドライバーを務めた平川さんは、愛車にもEXキーパーを施工していた経験があり、Keeperについてはもちろん熟知。撮影チームからの「Keeperの印象は？」「今の活動は？」といった質問にも、真剣に答えてくれました。受け答えはさすがの「クール」。インタビューを通して熱い思いや人柄も感じられる内容になっています。



この90秒CMは、近日放映予定です。お楽しみに！

SUPER GT 2025 ●第5戦／8月23日(土)・24日(日)鈴鹿サーキット(三重県)

[GT500] #38「Keeper CERUMO GR Supra」



8番手からスタートドライバーを務めたのは石浦宏明選手。2周目には4番手を走っていた#24「Nissan Z NISMO GT500」がコースアウトしたことで、石浦は7番手に浮上。#24と#17「Honda CIVIC TYPE R-GT」がシケインで接触、セーフティカーランとなる。10周目にリスタート、18周を終えて、ミニマムのピットインでアンダーカットを狙う作戦だ。大湯都史樹選手に交代し、#64「Honda CIVIC TYPE R-GT」先行することに成功。前が開けた大湯は、#12「Nissan Z NISMO GT500」を追いながら長い後半スティントを戦っていた。5番手の#12と7番手の#39「TOYOTA GR Supra GT500」との三つ巴の戦いの中、5番手に浮上する。ポジションを守り切りフィニッシュ。前日「5位くらいが理想」と大湯選手自身が語っていたとおりの順位だった。



[GT300] #61「SUBARU BRZ R&D SPORT」



スタートは井口卓人選手が担当、2番手に1秒392のリードをつける。トップを明け渡すことなく山内英輝選手にバトンタッチ。山内選手がピットアウトすると、#60「LEXUS LC500」、#7「FERRARI 296 GT3」、#5「TOYOTA 86 MC」、#6「FERRARI 296 GT3」抜かれ5位に落ちるが、#6を抜き返し4位に。山内選手は3位を走る#5をターゲットに周回を重ねていき、45周目にFCYが出され、解除のタイミングで3位に浮上、2位のマシンが失格となり繰り上げて今季最高位の2位を獲得した。



[GT500] #100「STANLEY CIVIC TYPE R-GT」



予選10番手でスタート。粘りを見せてポジションアップを狙ったが、SCやFCY導入によって落ち着きのない展開になったこともあり、好機を掴めず。ポジションキープの10位でチェッカーを受けた。

【第5戦時点でのランキング】	ドライバー ランキング	チーム ランキング
#38「Keeper CERUMO GR Supra」	3位	3位
#100「STANLEY CIVIC TYPE R-GT」	8位	7位
#61「SUBARU BRZ R&D SPORT」	7位	6位

KYOJO 2025 ●第3戦／8月17日(日)富士スピードウェイ(静岡県)

加速でギャップを築いた下野璃央選手がトップを守り、#4平川真子選手、#39富下李央菜選手がグリッド順のまま続く。富下選手の背後には#8佐々木藍咲選手が接近し、3番手に浮上。佐々木選手は平川選手を捉え、6周目に2番手に浮上した。その後方では、#7翁長実希選手が#46永井歩夢選手をパスし、10番手に浮上。永井選手は背後の#1斎藤愛未選手に追われる展開に。周回数残り3周となると

富下選手が、平川選手と横並びの状態ではTGRコーナーを通過。富下選手が表彰台圏内に順位を上げた。その後方では永井選手と斎藤選手のバトルが白熱。しかし永井選手がスピンを喫し、ポジションを落とすことに。下野選手がまたも独走状態となり、トップチェッカーを受けた。2位に佐々木選手、3位は富下選手、翁長選手は6位、斎藤選手は10位で入賞を果たした。



広報・メディア情報

●オウンドメディア

【新境地】新型クラウンエステートの
艶感MAX！EXキーパー施工



SUV的力強さとワゴンの実用性を兼ね備えたトヨタ新型クラウンエステートにEXキーパーを施工しました！どんな仕上がりになるかご覧ください！



KeePerの
オウンドメディア
「Keeper Giken」
チャンネル



チャンネル登録
お願いします！

ジャパンモビリティショー2025にKeeperブースを出展！

2025年10月30日(木)～11月9日(日)、東京ビッグサイトで開催される「ジャパンモビリティショー2025」に、Keeperのブースを出展します。

かつて「東京モーターショー」として約70年の歴史を刻んできた本イベントは、2023年から「ジャパンモビリティショー」として新たに進化。モビリティの可能性を暮らしや未来へと広げる、世界が注目する国際展示会です。

2025年のテーマは、「ワクワクする未来を、探しに行こう!」。Keeperブースでは、このテーマにふさわしくクルマとの未来をもっとワクワクさせる展示を用意。会場では、Keeperのフラッグシップモデル「EXキーパー」「マットテクスチャーキーパー」に加え、シークレットの商品も発表予定。さらに実際に施工した車両も展示し、来場者の皆さまに「触れて・見て・感じる」展示をお届けします。

期間：2025年10月30日(木)～11月9日(日)
会場：東京ビッグサイト

Keeperの展示ブース出展エリアは「東7・8ホール」

